

第3弾

MTDLPは本当に必要？

OT推進チーム

作業療法とは・・・基本に戻ってみましょう

【以前の定義】

「作業療法」とは身体又は精神に障害のある者、またはそれが予測される者に対し、その**主体的な生活の獲得を図るため、諸機能の回復・維持および開発を促す作業活動を用いて行う治療・指導および援助**を行うこと。

【現行の定義】

作業療法は、**人々の健康と幸福を促進**するために、医療、保健、福祉、教育、職業などの領域で行われる、**作業に焦点を当てた治療、指導、援助**である。**作業とは対象となる人々にとって目的や価値を持つ生活行為を指す。**

皆さん、作業療法をしていますか？

「作業」「その人にとって価値のある・意味のあるもの」「その人の幸福」

ここに焦点を当てられる医療職は作業療法だけです！！

OTらしさ、OTの専門性・・・答えは色々ありますが、まずは「定義」に戻ってみることが一番近道かもしれません！！

→MTDLPでよく出てくる言葉、概念ではありませんか??

作業療法士が行うこと

- 直接的リハや介入のみでなく、それを含めた**マネジメント**
- OTが行うマネジメントは「管理」という意味合いではなく、対象者が抱えている「**生活課題を解決する**」こと。
- そのために対象者がしたいことを**聞き取り、推察しながら、達成したい目標を一緒に達成**していく。

MTDLPは**一連のサイクルをツール化して臨床実践を可能**にしたもの。目標や目的を達成するためには何が課題かを明らかにし、課題が生じた理由を分析し、課題解決のために支援し、その結果、対象者(と組織)に成果がもたらされる。

MTDLPの開発について

2008年より、一般社団法人日本作業療法士協会では、「厚生労働省老人保健健康増進等事業」に取り組んできた。

- 作業療法の30cmものさしをつくる(作業療法のかたち)
 - 「生活行為向上マネジメント」の開発とその介入効果を検証
- 作業療法士が貢献できる「新たなサービスの在り方」を提案
 - 「作業をしている人は元気で健康である」の理念の具体化

国民への普及啓発への取り組み・・・

そのためにはまずは**しっかりと作業療法を行うこと**が重要！！

熟練した作業療法士の臨床思考過程を説明したもの＝MTDLP

MTDLPは対象者(と組織)が生活行為を向上する
(成果を上げる)ための

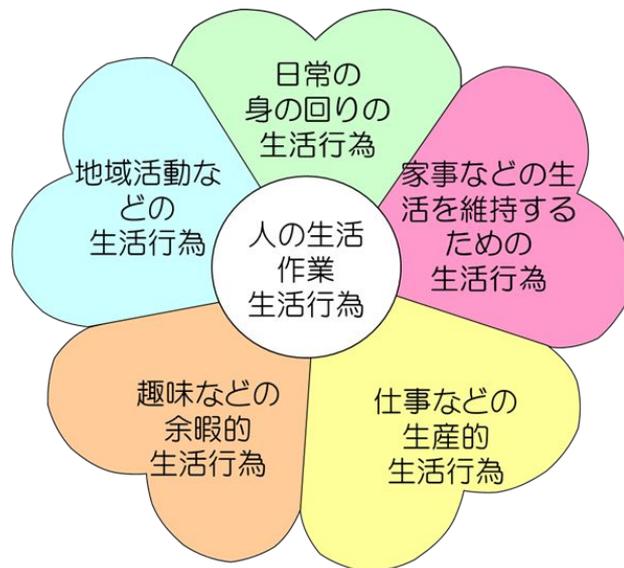
自立支援ツール(道具)です。

- 何をしてよいかわからない・・・
- 機能訓練に偏ってしまう・・・
- 支援に切れ目が出てしまう・・・
- 多職種連携がうまくいかない・・・

ツールを用いることで

「自身の頭の整理」「切れ目のない支援」

「バランス」や「連続性」、「地域課題」等を意識する
機会となります。



私たちの暮らし(生活)は、さまざまな生活行為の
連続で成り立っている

<https://www.jaot.or.jp/files/page/wp-content/uploads/2011/04/h22rokenjigyo-digest.pdf>

主典：平成22年度老人保健健康増進等事業 包括マネジメントを活用した総合サービスモデル
のあり方研究事業人は作業をすることで元気になれる

マネジメントツールである理由

目標や目的を解決・達成するために必要な課題を分析し

それらの解決のために手を打ち、対象者(組織)に成果をあげるように働きかけること。

「組織・地域を動かしていく」という視点をもつということが、プログラムやセラピー、アプローチではなくマネジメントである理由。

作業療法士が対応する「解決すべき課題」とは

「**あるべき姿**（期待、理想、目標）」と

「**現在の姿**」の差（ギャップ）

解決すべき課題は

複数ある「課題」のうち、**専門職として解決すべき**と考えた課題→**利用者との合意を経て**

まとめ

ICFに基づいた生活行為アセスメントを踏まえ、対象者の生活行為の自立に向けた作業療法を行うための環境や体制の整備、さらに組織マネジメントの実践、その結果として対象者に関わる環境や地域課題を抽出し求められる地域機能の創出までを目指しているのがMTDLP。

「OT」は直接介入以外にも視野を広げ、その人の人生と一緒に考えることができる仕事です。その視点を鍛えるために、MTDLPをぜひ使用してみてください。

今回はここまでになります。

もう一度、作業療法の可能性について、連続した思考や介入について考えてもらう機会となればうれしいです。

次回のテーマは「**第4回目 実際にMTDLPのシートを書いてみよう**」

参考・引用文献等

- 一般社団法人日本作業療法士協会：事例で学ぶ生活行為向上マネジメント. 医歯薬出版株式会社, 2015.
- 日本作業療法協会ホームページ <https://www.jaot.or.jp/> 2022/06/01